

保健連絡協議会だより

小学校のフッ素洗口率で全国1位、DMF歯数で九州1位を達成しました

武雄杵島地区歯科医師会 野田 正純

全国1位を目指した歯

佐賀県は、平成3年から10年間3歳児の一人平均う蝕数(むし歯の本数)で全国ワースト1を続けてきました。佐賀県ではこの汚名を返すべく、佐賀県健康増進課、佐賀県歯科医師会、佐賀県教育委員会が中心となってその対策に取り組んできました。

平成4年に有明西小学校で、県内最初のフッ化物洗口が始まり、平成11年から乳幼児歯科保健緊急対策事業の一環として、幼稚園、保育園でのフッ素洗口が始まりました。

その後小学校でもフッ素洗口は県内に広まり、平成12年には7校であったのが、平成20年には、全小学校(175校)の86.2%にのぼる151校での実施となりました。

実施率において佐賀県は、2位の新潟県をはるかに上回り全国1位となりました。さらに、平成21年度には、小城市、嬉野市、太良町の17校が実施予定となっております、いよいよ

目標であった100%実施が現実味を帯びてきました。

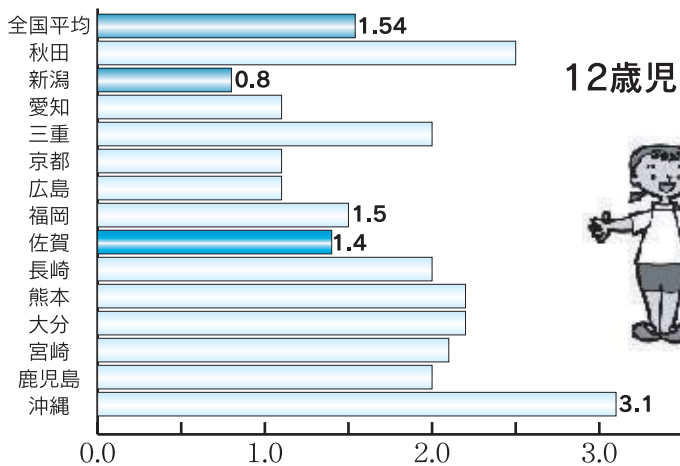
また、着実に子供たちのむし歯の数も減少しており、佐賀県は平成20年度の12歳児のDMF歯数(虫歯、治療した歯、抜けた歯の合計の平均本数)において1.4を達成し、九州地区では福岡県(1.5)を抜いて1位となりました。さらに、武雄・杵島地区においては0.88となっており、全国1位の新潟県の0.8に迫る勢いです。

むし歯にならないために

このように、着実に子供たちのむし歯の数は減少しておりますが、新潟県の0.8に近づぐためには、さらに各家庭において子供の口の中の状態に関心を持っていただきたいと思えます。フッ素だけではどうしても限界がありますので、日々のブラッシングと歯科医院での定期健診を忘れずに実行していただきたいと思えます。

歯科医院は治療をしてもらうのも

12歳児むし歯等の本数



平成20年度学校保健統計

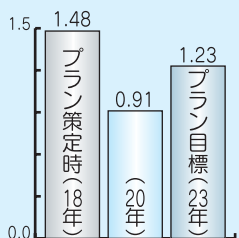
たつしゃかプランより
5・6月は

「噛まんばあー」1月間です

小学生のむし歯が減っています

武雄市の子どものむし歯が減っており、大変嬉しいことです。これはフッ素洗口の効果と家庭や学校での意識の高まりのあらわれだと思います。

武雄市の12歳児むし歯等の本数



平成20年度の武雄市の12歳児の永久歯のむし歯の平均本数が0.91本となりました。武雄市のたつしゃかプランの目標値1.23本を早くも達成しました。永久歯は一生使う大切な歯です。いつまでも自分の歯で食事を楽しむことができれば、すばらしいですね。

よく噛むことは

- あごを丈夫にし、歯並びを整えます。
- 脳を刺激します。
- 食べ過ぎを防ぎます。
- 表情を豊かにします。



担当:永淵

問

くらし部健康課 (23)9135